

年 月 日

登録建築大工基幹技能者講習

受講申込書

写真貼付位置
正面カラー写真
縦4.0cm×横3.0cm

受講日		受講会場		
受講者	ふりがな			
	氏名	⑩ 男・女		
	ふりがな			
	現住所	〒		
	生年月日 (西暦)	年	月	日
	年齢	歳		
	電話番号	FAX番号		
E:mail				
勤務先	ふりがな			
	会社名			
	ふりがな			
	住所	〒		
	電話番号	FAX番号		
受講票・講習修了証の送付先 (いずれかに○印)		自宅・勤務先		
受講要件	1. 一級建築大工技能士 2. 枠組壁建築技能士 3. 一級建築施工管理技士 4. 二級建築施工管理技士 5. 一級建築士 6. 二級建築士 7. 木造建築士 8. プレハブ建築マイスター			
受講資格 <small>※実務経験証明書に記載の年数を記入すること</small>	「大工工事業」「建築工事業」に係る実務経験年数	年	「大工工事業」「建築工事業」に係る実務経験年数のうち職長経験年数	年
(実務経験証明書、保有資格の合格証の写しを添付)				
所属団体	JBN・全建総連・住活協・2×4・木住協・ログ協・プレ協 その他 ()			

◆記入上の注意

1. 受講要件については、保有する資格の番号 (複数の場合は複数) に○印を付し、いずれかの合格証の写しを添付して下さい。今年度合格して合格証が届いていない場合は、合格通知ハガキの写しを添付して下さい。
2. 年数は西暦で記載して下さい。
3. 複数の団体に所属している場合は、それぞれに○を付して下さい。
4. 受講料の収納を証明する、銀行振込又は郵便振替の受領証の写しを添付して下さい。

受付印	受付番号	入金確認・書類確認	通知	受講番号

様式第1号(第22条関連)

表

実務経験証明書

下記の「大工工事業」「建築工事業」に係る受講申請者の実務経験の内容は、下記の通りであることを証明します。

証明者
 企業名 _____ 会社印
 代表者氏名 _____ 役職印

年 月 日

受講申請者の 氏名		証明者との 関係	
受講申請者の 生年月日	年 月 日	建築大工の 実務経験年数	年 ヶ月

受講資格に係る実務経験の内容

※裏面記入例を参照のこと

職長欄	実務経験の内容	作業内容	実務経験年数
			～ 年 月 (年 ヶ月)
			～ 年 月 (年 ヶ月)
			～ 年 月 (年 ヶ月)
			～ 年 月 (年 ヶ月)
			～ 年 月 (年 ヶ月)
			～ 年 月 (年 ヶ月)
			～ 年 月 (年 ヶ月)
			～ 年 月 (年 ヶ月)
			～ 年 月 (年 ヶ月)
			実務経験年数合計 年 ヶ月
			うち職長経験 年 ヶ月

※裏面に記入例、並びに記入上の注意を記載しています。

誓約欄

この証明事項が事実と相違無いことを誓約いたします。

氏名

印

裏

◆記入上の注意

1. 実務経験の証明者は事業主とします。ただし、事業主が証明できない場合は、当該経験を証明できる立場の者（当該経験に係る上位の下請）の証明書とします。
2. 申請者が事業主や一人親方の場合は、誓約欄に署名・捺印してください。その上で、職長教育修了証、又は事業主以外の元請の建設業者等による証明書（任意書式）の写しを添付してください。
3. 証明者との関係は「社長と従業員」の様に記入してください。
4. 職長として従事した期間は職長欄に「職長」と記入してください。

但し、住宅建設を中心とした現場及び中大規模の建物を建設する現場における職長（立場）の取り扱い、それぞれ次のとおりとします。

- (1) 住宅建設を中心とした現場における職長（職長を棟梁と読み替える。）とは、以下の能力を持った技能者とします。
 - ・ 建築大工工事に関する一連の作業が正確に手戻りなくできる熟練技能を持つ技能者。
 - ・ 現場監督が気付かない現場の問題点を指摘するなど工法や技術等について現場監督と協議し、作業手順を組立て、見習い・中堅技能者を統率し、的確な指示・調整等を行うことのできる技能者。
 - ・ 必要な資材の検討や工期管理ができ、他の職方と段取りの調整ができる技能者。
 - (2) 中大規模の建物を建設する現場における職長とは、総合建設業の基で下請となる他の専門工事業と同様に、現場毎に職長としての能力・役割を持ち、工務店等により建設キャリアアップシステムに入力された技能者とします。
5. 実務経験・作業内容は所属会社・職位ごとの内容を記入してください。

◆記入例

職 長 欄	実 務 経 験 の 内 容	作 業 内 容	実務経験年数
	大工工事業	木工事作業	2000年 4月 ～ 2007年 3月 (7年 0ヶ月)
	大工工事業	木工事作業	2007年 4月 ～ 2012年 3月 (5年 0ヶ月)
職長	大工工事業	木工事作業	2012年 4月 ～ 2018年 3月 (6年 0ヶ月)
			～ 年 月 (年 ヶ月)
実務経験年数合計			18年 0ヶ月
うち職長経験			6年 0ヶ月

別添 4

申請者が事業主や一人親方の場合は、実務経験証明書の誓約欄に自筆署名のうえ、

受講申請者の氏名	
申請者の勤務先	
証明者との関係	

職長教育修了証又は本証明書の写しを添付してください。本証明書の証明者は、事業主以外の元請の建設業者等による証明とします。

別添の、登録建築大工基幹技能者講習の受講申込に係る様式第1号「実務経験証明書」について、記載の通りであることを証明します。

年 月 日

証明者

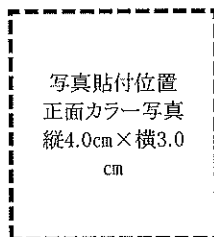
事業者名 _____ 会社印

代表者氏名 _____ 役職印

登録建築大工基幹技能者講習
受講票および試験受験票

		受講番号 ※記載不要	
受講日		受講会場	

ふりがな			
氏名			
生年月日 (西暦)		年齢 (受講日時点)	



登録情報の公開に係る同意書 (裏面参照)

私は今回の登録建築大工基幹技能者講習を受講し、登録建築大工基幹技能者に登録において、一般財団法人建設業振興基金が管理運営する「登録基幹技能者データベース」のHPにて「氏名(カナ氏名含む)・生年月日・所属組織の地域(都道府県のみ)・修了証番号・修了年月日・更新回数」の情報を公開することに

同意します ・ 同意しません

年 月 日

住所

氏名(自署)

登録基幹技能者データベースへの登録について

登録基幹技能者講習の試験に合格し、登録基幹技能者になられた者については、一般財団法人建設業振興基金(以下、「基金」)が管理運営する登録基幹技能者データベース(以下、「本データベース」)にご自身の情報が登録され、本データベース内で情報管理を行っております。

また、基金では発注者(公共機関等)や総合建設業者等に対する登録基幹技能者のPR及び活用促進を目的に、基金が管理運営する登録基幹技能者データベースに以下の情報を公開できるようにしております。(WEB公開)

<登録公開する情報>

「氏名(カナ氏名含む)」「所属組織(企業等)の地域(都道府県のみ)」「修了証番号」
「修了年月日」「更新回数」

<詳細情報の掲載>

登録者の希望により、所属組織(企業等)情報、登録者自身の写真、実務経験、取得資格や表彰歴、PRコメント等もより詳細な自己PRも行えます。

なお、所属組織情報は、登録者の責任により所属(企業名等)、所在地、連絡先を登録し情報公開します。

そのため、本データベースでご自身の情報を公開することについてご同意頂ける場合には表面の同意書の欄に「同意する」をご選択いただき、署名(自署)をお願いいたします。

ご同意いただけない場合は、本データベースでは情報の登録・管理するのみとし、情報の公開は致しませんので、表面の同意書に「同意しない」をご選択いただき、署名(自署)をお願いいたします。